

区民に負担増を求める「区行財政構造改革」

千代田区は、「基本構想」で「新しい自治の追求」をすることとして、「厳しい財政状況」「ニーズの多様化」「選択と負担」を前面に押し出した「仕組みづくり」、「構造改革」をすすめてようとしています。

その具体化として、「新行革大綱」では「行財政構造改革」として、①内部努力の徹底②経営的視点を導入した行財政運営の確立③区民の満足度と成果を重視する区政への転換④財政の健全化の四つの基本課題をあげています。しかしその内実、受益者負担、民営化・民間委託といったものであり、また、人件費の超大幅削減は、5年間で職員300人（職員総数の22%）を減らす内容です。これでは、区民と職員への負担増と行政責任の放棄または後退につながるものとなっています。以下、「新行革大綱」の問題点について考えていきます。区民のみなさんのご意見をお寄せください。

千代田区の「構造改革」とは

政府のすすめる「構造改革」は、大企業に対する負担と規制を取り払って大企業が活動しやすくすること、大企業への公的財政支援がねらいです。

千代田区の「構造改革」も「基本構想」では、「企業を対象にした行財政運営を行い、区財政を企業のためにも使う」といっています。

「新行革大綱」では「民間活力の導入」「使用料・手数料の大幅値上げ」など五年間で一二三億三千万円も区民に負担増を求める一方で、大企業・民間事業者支援のための市街地再開発事業には二百九十億四六八四万円（五年間）も支出する計画です。区民の税金の使い方が間違っているのではないのでしょうか。

区がやるべき仕事を営利追求の民間任せにするのがどうか

区は、「経営的視点を導入した行財政運営の確立」をめざすとしています。その柱は、「民営化」と「民間委託の推進」です。

その内容は、特養ホーム・在宅サービスセンター・保養施設・保育園の民営化及び情報システム・自動車運転・電話交換業務・学校調理・保育園調理・学校警備・公共施設の設計・道路公園の維持管理・図書館などの公施設管理運営・保健所検査業務・児童館等の業務を民間に委託するものです。

民営化は、保育園などに市場化・競争原理を持ち込みます。その問題点は、①経営がうまくいかなければ、「閉園」するか区財政の新たな投入になること、②営利追求のための運営になるので「質」が心配になります。「雪印」やベビーカーホテル「ちびっ子園」のようにならない保障はどこにあるのでしょうか。区が本来やるべき仕事を営利追求の民間に任せても大丈夫でしょうか。

定住人口回復策のためというが・・・

市街地再開発事業費に5年間で290億円を投入

第三次長期総合計画の推進プログラム（十四年度から十八年度）では、事業経費総額六二二億四千万円の大半が、民間再開発事業の助成に回ります。計画の約6割が「住宅関連」事業にあてられています。そのうち民間事業者施行の市街地再開発事業の推進に二十九億四六八四万円（八三十戸の住宅予定）の巨額な資金が計上されています。これに対して、区営住宅の建て替え整備には約三四億円、高齢者住宅の整備と合わせても、百六九戸約三九億円にとどまっています。単純に比較して市街地再開発事業費二十九億円を投入すれば、区営住宅建設の方がコストが低いために千二百六十戸建設できることとなります。「いつそこの居住空間の創出を図る」として巨額な資金を再開発事業に投入すると思いますが、果たして、安くて良質な住宅を供給する人口回復策につながるのかどうか問われます。



みなさんのご意見をお寄せください

保育園・児童館がまるごと民営に

政府のすすめる構造改革（企業のための規制緩和策）のもとで、自治体リストラ政策の一貫として公立保育園の民営化が急速にひろがっています。

この流れを受けて、千代田区も「新行革大綱」の中で保育園の民営化を平成18年度に実施することにしています。このままでは、千代田区から公立保育園がなくなります。

児童館・学童クラブの運営については、平成14年度以降順次、民間等に任せることにしています。学童クラブの育成料が無料から月2000円にされる予定ですが、有料化した背景は、運営を民間に任せることがねらいといえます。

千代田
区職労

区政ニュース

2002年3月発行・千代田区職員労働組合（3264-0151内線3551）

子どもにとってほんとうに大丈夫か？

区が学校・保育園給食の業者委託を打ち出してから、区民や職員は、「安全性は大丈夫か」「区の責任はどうなる」などの疑問や不安を投げかけてきましたが、未だに安心・納得できる説明ではありません。私たちは、区民のみなさんと給食問題について、子どもの視点からもっと深く考えていきます。当面、開催中の区議会での審議を見守りたいと思います。



疑問や不安を解消するのは区の責務です

委託業者が「雪印」のようにならない保障はあるか

「雪印」問題では、企業のモラルが問われました。営利を追求する業者のモラル低下を誰がチェックするのでしょうか。食中毒など、子どものいのちに関わる業務を区が直接、指揮・監督ができない民間業者に委託して、子どもたちに提供する給食に責任をもてる体制といえるでしょうか。

給食の業者委託は決して安くはない

区は、業者委託の人件費が直営の人件費より安いので、コスト削減できるとしています。給食の委託費は、長期的にみて費用がどうなるのか検討すべきでしょう。

委託の進んでいる足立区の学校給食の業者委託費を見ると、児童一人あたりの委託費の伸びが区の給食調理員の初任給の伸びを大きく上回っており、こうした傾向が続くと、直営で行うよりもコストが高くなる予測されています。（左下のグラフ参照）

このように、民間業者委託によりコストが安くなるとは決していえません。

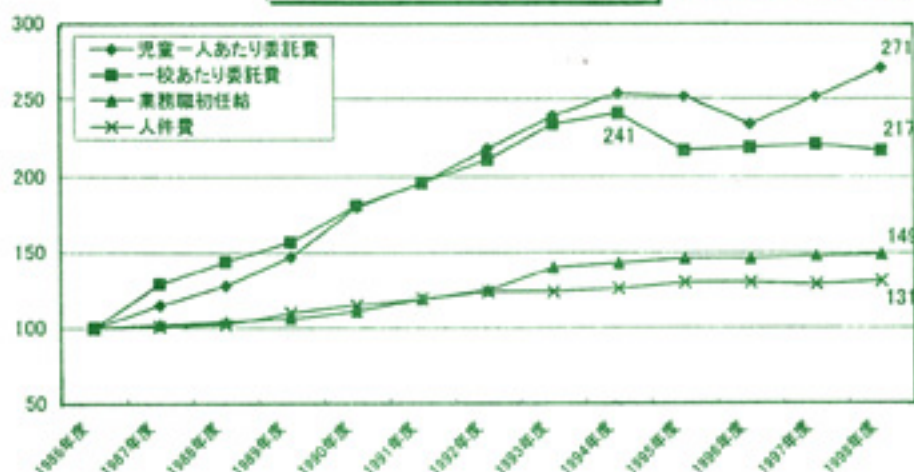
保育園の保護者は現在の給食に満足しているのか、なぜ・・・

四番町保育園の保護者が給食問題でアンケートを行いました。現在の給食に満足している「保護者が九割を超えています。私たちは、栄養士、調理員、保育士と保護者が連携して築きあげてきたことが評価されていると思っています。コスト効率主義のために業者委託にして、これまで築き上げてきた千代田の給食を壊してもよいのでしょうか。」

給食の業者委託で節約した経費を福祉に回すというが・・・

学校・保育園給食の十四年度予算案による委託費は、九〇五六万円です。区は委託して節約した経費は福祉施策に回すといいますが、果たしてそうでしょうか。平成十四年度予算案を見ると、福祉施策などの民生費は、昨年と比べ七億六三百万円、九・九%の減となっています。また、児童館職員の削減、保育園や子ども園の乳児には必要十分な人員配置を行っていません。その一方で、緊急性があるとは言い難い市街地再開発事業に何と九十億三四七八万円、区予算全体の約十八%も投入しようとしています。また、必要性に疑問のある江戸開府四百年記念事業関連経費として四億円も計上しています。これでよいのでしょうか。

学校給食委託費と人件費の変化 足立区中学校の場合



業務職とは給食調理員のこと。人件費の伸びより委託後は、委託費の伸びが大きく上回る



多くの区民の方々から給食問題の署名にご協力いただきました。2月25日現在5156名に達しています。ありがとうございます。最終結果は、区議会の審議の結果などと合わせて報告します。